
伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年1月19日

伊勢崎市教育委員会

<p>開催年月日 開催の場所</p>	<p>令和8年1月19日（月） 市役所北館4階会議室</p> <p>◇ 会 議 日 程 ◇</p> <p>第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言</p> <p>※出席委員</p> <p>三 好 賢 治（教育長） 里 見 哲 也（教育長職務代理者） 野 口 理英子（委員） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員）</p> <p>※説明のため出席した者</p> <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td><td>二 上 哲 也</td></tr> <tr> <td>教 育 部 副 部 長</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr> <td>総 務 課 長</td><td>大 平 貴 清</td></tr> <tr> <td>総務課政策調整担当</td><td>井 野 幸 枝</td></tr> <tr> <td>教育施設課長</td><td>井 上 宗 春</td></tr> <tr> <td>学校教育課長</td><td>神 立 誠</td></tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>杉 原 啓 介</td></tr> <tr> <td>学 務 課 長</td><td>関 根 由 夏</td></tr> <tr> <td>健康給食課長</td><td>百 瀬 剛 志</td></tr> <tr> <td>生涯学習課長</td><td>高 橋 浩 一</td></tr> <tr> <td>図書館課長</td><td>和佐田 靖 子</td></tr> <tr> <td>文化財保護課長</td><td>吹 上 恵 一</td></tr> </table> <p>※総務課職員出席者</p> <table border="0"> <tr> <td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>石 倉 雄 輔</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>神 部 結 衣</td></tr> </table>	教 育 部 長	二 上 哲 也	教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子	総 務 課 長	大 平 貴 清	総務課政策調整担当	井 野 幸 枝	教育施設課長	井 上 宗 春	学校教育課長	神 立 誠	四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介	学 務 課 長	関 根 由 夏	健康給食課長	百 瀬 剛 志	生涯学習課長	高 橋 浩 一	図書館課長	和佐田 靖 子	文化財保護課長	吹 上 恵 一	書 記	阿左美 裕 美	書 記	石 倉 雄 輔	書 記	神 部 結 衣
教 育 部 長	二 上 哲 也																														
教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子																														
総 務 課 長	大 平 貴 清																														
総務課政策調整担当	井 野 幸 枝																														
教育施設課長	井 上 宗 春																														
学校教育課長	神 立 誠																														
四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介																														
学 務 課 長	関 根 由 夏																														
健康給食課長	百 瀬 剛 志																														
生涯学習課長	高 橋 浩 一																														
図書館課長	和佐田 靖 子																														
文化財保護課長	吹 上 恵 一																														
書 記	阿左美 裕 美																														
書 記	石 倉 雄 輔																														
書 記	神 部 結 衣																														
<p>開 会</p>	<p>——— 開会宣言 ———</p> <p>教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。</p>																														
<p>会議録署名委員の指名</p>	<p>——— 会議録署名委員の指名 ———</p> <p>教育長から会議録署名委員として矢島委員、佐塚委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。</p>																														
<p>前回会議録の承認</p>	<p>——— 前回会議録の承認 ———</p>																														

<p>会議録署名委員の署名</p>	<p>12/22の会議録の承認を求め、承認された。</p> <p>——— 会議録署名委員の署名 ———</p> <p>12/22の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口委員、矢島委員署名</p>
<p>教育長報告</p>	<p>——— 教育長報告 ———</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>1.「令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞者について」、資料を基に報告があった。</p> <p>2.「令和7年度群馬県教職員表彰の受賞者について」、資料を基に報告があった。</p> <p>3.「令和7年度市内幼小中学校美術展について」、12月6日から8日に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで市内幼小中学校及び特別支援学校児童生徒の作品を展示公開した旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《四ツ葉学園中等教育学校事務長》</p> <p>4.「令和8年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について」、志願状況及び倍率や1月24日に選抜試験を実施し、2月4日に合格者の発表をする旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《学務課長》</p> <p>5.「令和7年度就学援助費認定率について」、資料を基に報告があった。</p> <p>《図書館課長》</p> <p>6.「伊勢崎検定「郷土史A」の実施について」、2月20日に伊勢崎市図書館で実施する旨、資料を基に報告があった。</p> <p>7.「市史編さんシンポジウムの開催について」、3月15日に赤堀芸術文化プラザで開催される旨、資料を基に報告があった。</p> <p>《野口委員》</p> <p>文部科学大臣優秀教職員表彰、群馬県教職員表彰について、先生方の日ごろの取組を表彰されたことを嬉しく思いました。基本的な質問ですが、選考の基準やどのようなプロセスで受賞されたのか教えてください。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>まず、群馬県教職員表彰ですけれども、教育委員会から各学校長に依頼して教員を推薦していただきます。県の教職員表彰は大別して3つの部門がありまして、菊池教諭が受賞した貢献部門は50歳代の教員が対象です。それから荒井教諭、廣瀬教諭が受賞した優秀教職部門は40歳代の教員が対象です。また、今回は該当がありませんでしたが、奨励部門は30歳代の教員が対象です。市の教育委員会で各学校から推薦された教員を協議しまして、県の教育委員会に推薦させていただき、最終的に県の教育委員会で優秀者が決定されます。また、文部科学大臣表彰ですが、今年度受賞した中嶋教諭につきましては、令和3年度に県の優秀教職員部門で受賞されました。文部科学大臣優秀教職員表彰については、過去に県の優秀教職員表彰を受賞した教員の中から、県が文部科学大臣表彰に推薦し、受賞に至ったという経緯でございます。</p> <p>《野口委員》</p> <p>子どもたちの表彰はすごくたくさんあるのですが、先生方が受賞できる機会は少ないという印象がありまして、こういった形で頑張っている先生方が受賞できる機会がもっとたくさんあるといいなと思います。</p>

《里見委員》

伊勢崎検定「郷土史A」について、地元の歴史を学ぶきっかけとして非常に良い取り組みだと思います。今回が何回目になるのか、ということ。また、定員が30名ということですが、希望者数は定員に対してどのような状況でしょうか。最後に、受検をされた方の感想を教えてください。

《図書館課長》

まず、回数ですけれども、今年度が3回目です。1回目、2回目と土日に開催しましたが、働いている方のご意見をお伺いして、今回は初めて平日の夜に開催します。より参加しやすい形になると考えています。定員については変わらず30人ですが、昨年は15人でした。参加者の平均点が100点中43点と、非常に内容が濃くなっていたかと思います。基本的には伊勢崎市史ですとか旧町村の市史をベースに作っていただいております。そちらをよく見ていただくと分かるようになっていきます。参加者からの感想としては、「改めて分かったことがありました。」「ちょっと難しかったですけどまた挑戦したいと思います。」という感想をいただいております。

《里見委員》

非常に有意義な取り組みなので、ぜひ市民の皆さんに周知をお願いしたいと思います。

《矢島委員》

美術展について、資料に「造形美術教育の一端を理解してもらう。」とありますが、家庭や地域の方々に感動を与えることなのかなと読み取ることができました。子どもたちが作品を作る時には創作する意図や偶然生まれてくる効果を体験できます。また、表現することへの挑戦、楽しさ、難しさを感じる機会を子どもたちに与えていただいたと感じています。課長さんをはじめ、学校の先生方に感謝を申し上げたいなと思っています。質問なんですけど、展示会の代表作品はここに来ない子どもたちにも見られる機会はあるのでしょうか。

また、二点目に、就学援助費認定率について、学校生活の充実を目指すという認定の趣旨を説明いただきました。そして、丁寧な対応をされていることも説明がありました。昨年よりも71人、0.5%も認定の方が増えているということで、必要な方が支援を受けられている、という意味では良かったと思うと同時に、援助が必要な方が増えている社会でないといいなと思います。複雑な思いをしながら、この事業は必要な方に支援を届けていただいているのだと感じました。

三点目に市史編さんのシンポジウムについて、荘園が伊勢崎にもあったということがパンフレットで分かったんですけど、トークセッションに大学の先生をはじめ、高校生が参加し、調査活動の成果を発表されるということでした。学校の授業を受けるということだけでなく、自律的な学習、自分の時間を使って自分の調べたいことを調べる、ということに挑戦する機会を作っていただくことに感謝いたします。若い人たちが活躍できるシンポジウムなどの機会をぜひ作っていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

《学校教育課長》

美術展についてですが、各学校については学級ごとに出展できる作品が少ないものですから、出展できない子どもたちの作品については校内で展示をしまして授業参観、保護者面談、また、地域の方については学校開放いたしまして見ていただくような対応としています。

《佐塚委員》

	<p>1と2の教職員表彰ですが、今年度は小学校の先生方が受賞しているようですけれども、中学校や幼稚園の先生も表彰されていらっしゃるのでしょうか。</p> <p>また、3の市内幼小中学校美術展についてですけれども、展示会に行かせていただきました。夕方4時の遅い時間でしたが、たくさんの方が家族連れでいらっしゃいました。展示を見ていましたら、私の隣にいた同年代の方が「孫の作品を見てください。」と手を引っ張るように連れて行ってくださいました。境の3年生の作品でしたが、家庭での様子をお話いただきながら「リコーダーを吹く私」という題で、「手が素晴らしいでしょう。」と子どもの成長を目の当たりにして嬉しそうな様子に、私も嬉しくなりました。家庭での姿とは違う子どもの成長した姿を共有する素晴らしい機会になっているのだなと感じました。</p> <p>また、子どもの作品の題名を非常におもしろく拝見させていただきました。幼稚園では「ダイコンを掘っているわたし」という題で、目も髪もバサバサになって引っ張っているような個性的で生命力に溢れている絵がありました。また、中学生になると技術的に向上し、表現力もついてきて、先生方の教科指導力が発揮されていて、子どもが学んでいる姿を感じることができました。中学生は自画像が多いなと思いました。私は言葉を大事にしながら見る癖がありまして、自画像の題が「試行錯誤」とか「不安と悩み」とか「今を生きる私と未知の世界」とか、素晴らしい言葉の世界が作品の中に現れていて、自分の内面を見つめるいい機会になっていると思いました。今はA Iで作文でも美術作品でもできてしまう時代になっていますけど、時間をかけて自分の内面と出会って作品を作っていく体験は子どもたちに良い機会になっていると思います。</p> <p>もう一つ、感想として、最近は風景画が少ないと感じています。私の昔の話ですけれども、美術の時間になると外に出て赤城山ばかり書いていた思い出があります。北小の6年生の中に「私の大切な風景」という題の中で3点ほど旧時報鐘楼の絵を見ましたが、故郷の風景をしっかりと見つめることはすごく大事なことだと思いました。自分の生まれ育ったところの身近な風景を鑑賞し、表現することは大事なことです。身の回りのことを美術的な意識の中で活かしていくことが大事だと感じまして、お話しさせていただきました。</p> <p>《学校教育課長》</p> <p>優秀教職員表彰の件でございますが、昨年度の県の表彰者は3名のうち2名は中学校の教職員でございました。今回はすべて小学校教員ですが、中学校も対象でございます。幼稚園教諭につきましてはこちらの表彰は対象外です。</p> <p>我々としては、子どもたちのふるさと学習というのもしておりますけれども、図工を通して絵を通して自分の故郷をしっかりと意識づけられるような創作活動を考えていきたいと思っています。</p>
事前質問	—— 事前質問 —— なし
議 事	—— 議案 —— 議案1号「令和8年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出当初予算の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 《里見委員》

	<p>令和7年度の予算に対して、増えているのか減っているのか、またその金額についても教えていただけますでしょうか。また、もう一つは主たる要因について、一つか二つ教えてください。</p> <p>《教育部総務課長》</p> <p>令和7年度の金額と主たる要因については後に調べてお伝えさせていただきます。</p> <p>《矢島委員》</p> <p>国の方でも話題に上がっている学校給食費無償化について、当初予算の中に含まれているのか伺いたいと思います。</p> <p>《健康給食課長》</p> <p>令和8年度から小学生分を無償化するという報道が出ています。実際に国や県を注視しながら令和8年度の無償化を進めていければと考えていますが、令和8年度の予算要求時にはまだその話が出ておりませんでしたので、小学生分の無償化は予算に含まれておりません。</p> <p>《教育長》</p> <p>給食費の無償化につきましては準備を進めております。今現在、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して1月から3月まで小学校の給食費の無償化を行い、その延長線上で令和8年度についても無償化で進めていく、ということでございます。このあと議会でご審議いただくところですけれど、ご意見をいただきながら、実現に向けて進めていきたいところでございます。（そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）</p>
その他の事項	<p>——— その他の事項 ———</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の教育委員会の日程について <p>2月12日（木）午後2時 市役所本館5階職員研修室</p>
閉 会	<p>——— 閉会宣言 ———</p> <p>以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。</p>